

## 基本目標7 市民とともに歩む「ムダ」のない経営

## 個別目標 7-1 効率的で質の高い行政経営が推進されるまち

● 関連する  
SDGs

## 現 状

- 各階層及び各専門分野に応じた能力の向上のほか、新しい制度導入の際の知識の習得等を目的に職員に対する研修を積極的に行っています。
- 業務の質の向上や効率化を図るために、毎年度事務事業評価を実施しています。
- 市民生活の向上を図るため、ケーブルテレビやインターネットを通じたサービスとして、行政放送番組の制作やホームページの公開を行っています。
- 令和3年度にホームページのリニューアルを行い、ユーザビリティ<sup>※1</sup>やアクセシビリティ<sup>※2</sup>の向上を図っています。
- コミュニケーションアプリLINEを活用した行政情報等の発信を行っています。

## 課 題

- 経験豊富な職員の退職に伴い、これまで個人レベルで蓄積してきた様々な技術やノウハウを若手職員らに継承していくための取組が必要になっています。
- 専門性の高い職員研修の充実を図り、職員の課題解決や政策立案能力の向上が必要となっています。特に、自治体DXに対応できる職員の育成が急務となっています。
- 各課対応業務の幅が広がってきており、より効率的で効果的な組織機構への見直しが必要となっています。
- デジタル化の急速な推進等、社会情勢が大きく変革しつつあることから、現状にとらわれない新たな視点での組織の立ち上げや再編の検討が必要となっています。
- 窓口サービスや支所機能の効果的な機能確保に向けた人材育成の強化をはじめ、情報システムを有効に活用した市民サービスの向上や業務の効率化、「志布志市情報公開条例」に基づく情報の公開、「志布志市個人情報保護条例」に基づく個人情報の厳格な保護など、制度の適正な運用を図ることが必要となっています。
- デジタル化、押印廃止、電子申請など、住民サービスの利便性の向上が求められています。
- 行政評価については、評価の結果を予算編成や人事評価、総合振興計画の進捗管理に、どのようにつなげていくかが肝要となります。「行政評価」、「実施計画」、「予算編成」を効果的に連動させたPDCAマネジメントによる「行政経営システム」を構築することで、経営資源の有効活用や更なる職員の意識向上を図る必要があります。

## 施策体系

01 人材育成の推進

02 行政組織の効率化

03 行政サービスの利便性の向上

04 情報の発信と適切な管理

※1 ユーザビリティ：ユーザーがそのWebサイトやアプリで目的を達成するために、効率のいい方法で、ストレスなく一連の操作を行えるかどうかを表すもの。使いやすさ。

※2 アクセシビリティ：近づきやすさ、利用しやすさ、などの意味を持つ英単語で、ITの分野では機器やソフトウェア、システム、情報などが身体の状態や能力の違いによらず様々な人から同じように利用できる状態やその度合いのことを指す。

施策  
01

人材育成の推進

● ● めざす姿 ● ●

やる気にあふれ、変化する市民ニーズに柔軟に対応できる職員が育成されています。

● ● 指標と目標値 ● ●

指 標	単 位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
専門的な特別研修の参加者数	人	11	20
派遣職員数（累計）	人	52	73

● ● 施策の方向性 ● ●

(1) 地方分権が進む中で、専門的な能力を持った職員を養成していきます。また、自治体DXに対応できる職員を育成し、働き方改革、事務改善能力の向上に努めます。

(2) 仕事への意欲向上及び意識改革のため、公平、公正で透明性の高い人事評価制度の充実を図ります。

(3) 専門的、先進的な行政手法や幅広い視野の習得のため、職場外への派遣研修を推進します。

(4) 大規模な自然災害や事故災害が発生した際でも、「全体の奉仕者」として迅速な対応ができるよう危機管理能力の向上に努めます。

(5) 地方税や地方交付税等の一般財源が減少していく中で、限られた行政資源を最大限に活用できるようにするための事務改善能力の向上育成に努めます。

● ● 共生・協働のまちづくり ● ●

市民	市政情報に関心を持ち、市職員との意見交換に努めましょう。
地域	市政運営に関心を持ち、市職員との連携を図りましょう。
行政	職員の意識改革と能力開発のため、研修会などを積極的に実施します。

**施策  
02**
**行政組織の効率化**
**めざす姿**

多様化・高度化する市民ニーズや社会情勢などに対応できる体制やノウハウが市役所に備わり、効率的で健全な行財政運営ができています。

**指標と目標値**

指 標	単 位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
職員数	人	318	<b>317</b>

**施策の方向性**

(1) 事務事業マネジメントの振り返り検証と新規事業をセットに、事務事業優先度評価を実施し、予算編成に反映できるようなシステムの構築を図ります。

(2) 業務の簡素化・効率化などにより職員数の適正化に努めます。

(3) 経営戦略の充実及び多様化する行政ニーズに柔軟に対応できる機能的な組織管理体制の構築を図ります。

(4) 将来のまちづくりに備えた組織体制と本庁、支庁としての機能を充実させる取組に努めます。

(5) デジタル化の取組を推進しながら職員負担の軽減や業務の効率化を図ります。また、デジタル化の進展を踏まえた文書管理の電子化を進めます。

**共生・協働のまちづくり**

市民 事業者	—
地域	—
行政	社会情勢の変化に対応した組織、職員数の見直しに努めます。 簡素で効率的かつスピード感のある組織づくりに努めます。

**関連計画**

・志布志市デジタル化推進計画

施策  
03

行政サービスの利便性の向上

● ● めざす姿 ● ●

情報システムの有効活用と窓口サービスや支所機能の充実により、市民の手続の利便性が向上しています。

● ● 指標と目標値 ● ●

指 標	単位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
窓口対応苦情件数	件	1	0
マイナンバーカードの普及率	%	21.37	80.0
(戦) 企業との包括連携協定締結数	件	8	13
行政手続のオンライン手続件数	件	35	150
キャッシュレス納付件数	%	0	18.0

● ● 施策の方向性 ● ●

(1) 管理部門を中心に行政組織の合理化を進めるとともに、市民サービスに直結する部門の充実を図ります。

(2) 市民サービス拠点の拡大など情報通信技術等を活用することにより、行政の効率化と市民の利便性向上を両立できる体制づくりを進めます。

(3) アプリ、QRコード決済の導入など納付方法の多様化を推進します。

(4) コミュニケーションアプリLINEを活用し、行政情報の発信や「小さな市役所」と呼ばれる窓口機能を使い市民サービスの向上やデジタル化の推進を図ります。

(5) パブリックマインドのある企業等との包括的連携協定の締結を推進し、市民サービスの向上を図るとともに、地域の活性化等を目的とした取組を実施します。

戦略

(6) 市民の多様なニーズに対応するため、申請手続のオンライン化など市民の利便性の向上を図ります。

## ●● 共生・協働のまちづくり ●●

市民 事業者	サービス享受に対する適切な負担に努めましょう。
地域	サービス享受に関する情報周知に努めましょう。
行政	市民の視点に立った行政サービスを提供します。 社会経済情勢の変化を考慮しつつ、受益者負担 <sup>※1</sup> の公平化・適正化を図る観点から、使用料や手数料、負担金等の見直しを行います。

## 関連計画

- ・ 志布志市情報化計画
- ・ 志布志市デジタル化推進計画



※1 受益者負担：公共サービスを提供する際、その利益を受けるものが、その利益に応じて経費を負担すること。



施策  
04

情報の発信と適切な管理

● ● めざす姿 ● ●

市民ニーズやデジタル化に合わせた情報発信が進み、情報システムの適切な管理・更新や情報セキュリティの向上が図られています。

● ● 指標と目標値 ● ●

指 標	単 位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
市職員の情報セキュリティに関する研修の受講率	%	95.8	100.0
ホームページの閲覧数	カウント	2,492,445	3,000,000
L I N E の友だち数	人	3,267	8,000

● ● 施策の方向性 ● ●

(1) 全ての人に分かりやすい行政情報を提供できるよう、広報紙やホームページ等多様な媒体での情報発信を行い、L I N E や S N S 等を活用した相互情報通信の充実を図り、スピーディーな情報発信に努めます。

(2) 情報発信に当たっては市民ニーズに合わせた、わかりやすい提供に努めます。また、スマートフォンアプリでの情報共有などデジタル化への対応も検討していきます。

(3) 市民に対する説明責任を果たすとともに、市政への市民参画を推進するため、「志布志市情報公開条例」に基づき、情報公開制度の適正な運用を図ります。

(4) 公正で信頼される市政を推進するため、「志布志市個人情報保護条例」に基づき、個人情報保護制度の適正な運用を図ります。また、市民をはじめ、職員の意識の向上に努めます。

(5) 情報漏えい等の危機を防止するため、システムや運用体制などセキュリティ対策を強化します。

(6) 申請書等の押印の廃止及び文書管理システムの更新に合わせての電子決裁の導入を検討し、市民・行政双方の負担軽減を図ります。

## ●● 共生・協働のまちづくり ●●

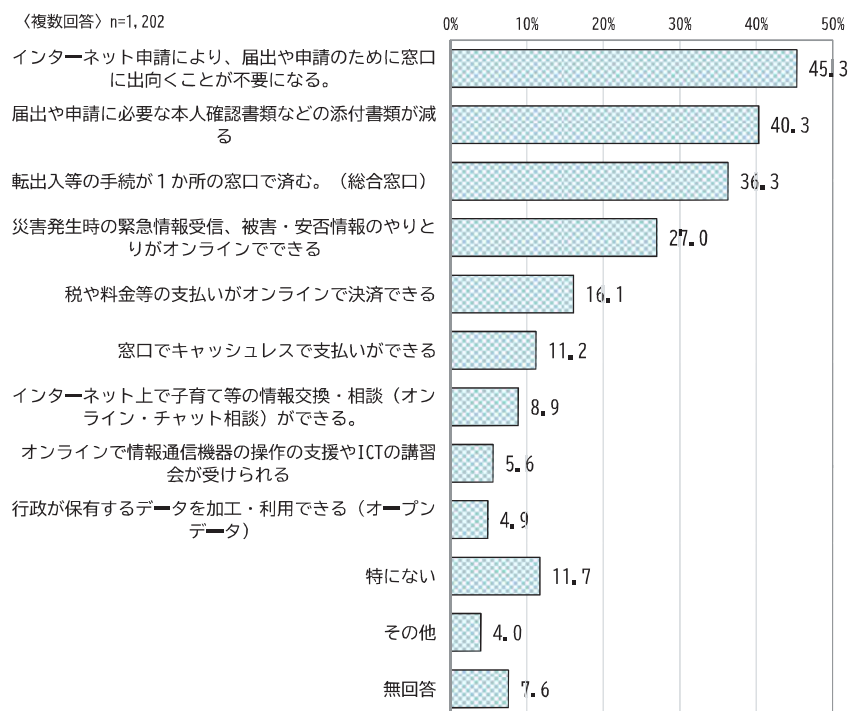
市民 事業者	—
地域	—
行政	情報公開に努めます。 セキュリティの向上を図ります。

## 関連計画

- ・ 志布志市情報化計画
- ・ 志布志市デジタル化推進計画

## 住民の声

## ■ デジタル化で良くなることを期待する行政サービス



出典：市民意識アンケート（令和3年度）

基本目標7 市民とともに歩む「ムダ」のない経営

個別目標7-2 健全な財政運営が推進されるまち

●関連するSDGs



現 状

- 廃校となった学校跡地の貸付を行うなど有効活用するとともに、地区公民館等が管理を行うことで、地域の活性化につながっています。
- 合併特例債を活用し、地域づくり推進基金に積み立てたこと等により、基金残高が増加したこと、また、償還額を上回らない市債の発行を行い、市債現在高が減少したことで、健全な財政運営が図られています。
- 支払い手段の多様性や金融機関窓口等の縮小に対応し、市民の利便性向上に資するため、アプリ決済の導入を庁内関係各課と研究検討を行い、令和4年度の導入を目指して作業を進めています。
- 公共施設等総合管理計画において定めた公共施設等の総合的な管理に関する基本方針を実現するため、個別施設の今後の方針を定めた公共施設等個別施設計画を策定しました。

課 題

- 中長期的な展望の下、持続可能で健全な財政運営を維持するためには、適正かつ公平な課税及び公平な税負担の確立と収納率向上に向けた取組を行う必要があります。
- 公金の納付方法の多様化など、市民ニーズやライフスタイルに応じた納付環境を整備することにより財源を確保する必要があります。
- 市有建築物の老朽化が進んでいることから、年齢構成の変化などに伴う市民ニーズや社会環境の変化に応じた活用方策を見据えつつ、「公共施設等総合管理計画」、「公共施設等個別施設計画」や指定管理者制度等を活用し、計画的な維持保全・更新により、財政負担の平準化と施設の有効利用を図る必要があります。
- 近年における経済情勢の低迷により、厳しい財政状況が継続し、これまで以上に自主的、主体的な地域づくりが求められることから、歳入を安定的に確保することは非常に重要な課題となります。
- 自主財源<sup>※1</sup>である市税の確保や滞納整理事務の強化に努めつつ、国及び県の補助事業の積極的導入やふるさと納税制度の活用等も一層推進する必要があります。

施策体系

- 01 健全で安定した財政運営の推進
- 02 歳入の確保
- 03 計画的な施設更新と公有財産の有効活用

※1 自主財源：地方自治体が自ら徴収・収納できる財源のことで、地方税、使用料、寄附金、財産収入など。



## 施策 01

### 健全で安定した財政運営の推進

#### ● ● めざす姿 ● ●

歳入の確保や歳出の抑制などにより、健全な財政運営ができています。

#### ● ● 指標と目標値 ● ●

指 標	単 位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
実質公債費比率 <sup>※1</sup>	%	10.0	9.5
将来負担比率 <sup>※2</sup>	%	15.3	7.4

#### ● ● 施策の方向性 ● ●

(1) 中期財政計画や総合振興計画を踏まえ、事業内容の妥当性、投資効果、緊急性などを検討し、選択と集中による優先度を勘案した重点的・効率的な財政運営に努めます。

戦略

(2) 予算編成方針説明会等により、本市の財政状況を全職員が認識し、限られた財源の効率的な配分を行います。

(3) 補助金が施策目標に対し適正で公平に運用されているかを検証し、外郭団体数の増加の抑制に努めます。

(4) 事業の実施に当たっては、民間活力を利用した様々な事業方式を導入するとともに、行政評価を実施するなど効率的かつ効果的に事業を推進し、健全な財政運営に努めます。

(5) 広報紙やホームページ等で施策の実施状況や財政状況等を分かりやすく周知します。

#### ● ● 共生・協働のまちづくり ● ●

市民 事業者	財政状況や行政の運営へ関心を持ちましょう。
地域	財政運営の在り方について理解と協力を努めましょう。
行政	健全な財政運営に努めます。 財政状況を分かりやすく積極的に公表します。

#### 関連計画

・ 志布志市中期財政計画

※1 実質公債費比率：地方税収など経常的な一般財源のうち地方債の償還やそれに準ずるものに充てる割合。

※2 将来負担比率：自治体の標準財政規模に対する、将来返済すべき負債の割合のことで、自治体の財政の健全度を図る指標の一つ。

施策  
02

歳入の確保

● ● めざす姿 ● ●

収納率向上に向けた取組や補助金等を積極的に活用することにより、歳入が確保されています。

● ● 指標と目標値 ● ●

指 標	単 位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
市税等の納期内納付率	%	89.13	<b>93.00</b>
市税収納率	%	96.83	<b>97.30</b>
(戦) ふるさと納税寄附件数	件	217,136	<b>200,000</b>
(戦) 企業版ふるさと納税寄附件数	件	3	<b>20</b>

● ● 施策の方向性 ● ●

(1) 収納率向上に向けた取組を推進するとともに、多様化する納付環境の充実に図り、納期内納付を推進します。

(2) 官民連携による事業収入など新しい自主財源の確保に努めます。また、地方創生プロジェクトの取組の充実・強化を図るため、企業版ふるさと納税を推進します。

戦略

(3) 未利用地や活用見込みがない建物等は、貸付け等公有財産の有効活用に努め、活用見込みがない物件については売却を推進します。

(4) 国及び県の補助事業については、積極的に情報収集し、活用に努めます。

(5) 適正かつ公平な課税及び公平な税負担の確立に努めます。

● ● 共生・協働のまちづくり ● ●

市民 事業者	税金について理解し、納税義務を果たしましょう。
地域	行政と連携し、歳入の確保に向けた取組に協力しましょう。
行政	市民の納税義務を啓発し、収納率の向上を図ります。 補助金の積極的な活用に努めます。

### 施策 03

## 計画的な施設更新と公有財産の有効活用

### めざす姿

計画的な施設の維持保全・更新による財政負担の平準化などにより、歳出が抑制されています。

### 指標と目標値

指 標	単 位	現状値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
(戦) 建物系公共施設の総資産量（延床面積）の削減率	%	0.6	7.7

### 施策の方向性

- (1) 公共施設の適正な維持管理を図るために、予防保全的な維持管理を検討し、ライフサイクルコストの縮減につなげます。 戦略

---

- (2) 施設、設備の更新や修繕は経費を伴うため、単年度で突出することのないよう庁舎管理の中長期的な年次計画について検討を行います。 戦略

---

- (3) 「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設等個別施設計画」を推進することで、施設の更新、統廃合及び長寿命化等を行うに当たっては、P F I 事業の活用も検討し、財政負担の軽減及び平準化を図ります。 戦略

---

- (4) 「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設等個別施設計画」を踏まえ、施設の計画的な維持管理、長寿命化や統廃合等に努め、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、施設方針の検討結果の実現に向けて検討します。 戦略

---

- (5) 大規模改修や新庁舎建設を見据えた庁舎整備基金（仮称）への積立を行い、将来の財源不足を補い世代間の負担の均衡を図ります。 戦略

### 共生・協働のまちづくり

市民	各公共施設での様々な取組に参加しましょう。
地域	各公共施設の在り方について、理解と協力を努めましょう。
行政	財政負担の軽減に努めます。 施設の維持運営経費を効率化します。 P F I 事業の活用について検討します。

#### 関連計画

- ・ 志布志市公共施設等総合管理計画
- ・ 志布志市公共施設等個別施設計画

